

# 目次

## 第1編 口蹄疫の概要

はじめに .....	1
<b>第1章 口蹄疫の性状と病性 .....</b>	<b>1</b>
1. 口蹄疫ウイルスの性状と伝播 .....	1
1) 口蹄疫ウイルスの性状 .....	1
2) 口蹄疫ウイルスの地理的分布 .....	2
3) 口蹄疫ウイルスの宿主体域 .....	3
4) 口蹄疫ウイルスの感染と伝播 .....	3
2. 口蹄疫の病性と病理 .....	9
1) 感染牛の臨床症状 .....	9
2) 感染豚の臨床症状 .....	10
3) めん羊の臨床症状 .....	10
4) 野生動物等の臨床症状 .....	11
<b>第2章 世界における口蹄疫の流行と診断 .....</b>	<b>12</b>
1. 口蹄疫の発生状況 .....	12
2. 口蹄疫の診断ネットワーク .....	12
3. 日本における口蹄疫の診断体制 .....	13
<b>第3章 口蹄疫の予防と防疫 .....</b>	<b>14</b>
1. ワクチンの種類と防御効果 .....	14
2. 口蹄疫の予防とまん延防止 .....	16
1) 国際的な防疫体制 .....	16
2) 日本の防疫体制 .....	17
3) 口蹄疫の侵入を水際で防ぐ動物検疫対策 .....	18
4) 周辺諸国の口蹄疫防圧のための国際協力 .....	19

<b>第4章 食糧問題と口蹄疫</b> .....	21
1. 口蹄疫の畜産物生産への影響 .....	21
2. 口蹄疫に関連した畜産物貿易に関する国際的な考え方 .....	23
1) S P S協定と国際基準設定機関 .....	23
2) O I E国際陸棲動物衛生規約 .....	24
<b>第5章 口蹄疫に対する国際的な防疫対策の現状と新しい動き</b> .....	25
1. 口蹄疫に対する防疫対策の現状 .....	25
2. E Uの口蹄疫に対するワクチン戦略：ワクチネーションに対する考え方 .....	25
3. E Uのワクチネーション戦略に対する評価 .....	26
4. 英国（環境・食料・農村地域省）の緊急ワクチネーション計画 .....	27
5. 2001年のオランダにおける口蹄疫流行時のワクチンの使用 .....	28
6. 防疫活動と動物福祉 .....	28
<b>第2編 公衆衛生における口蹄疫</b>	
<b>第1章 口蹄疫ウイルス感染動物及び畜産物等におけるウイルスの消長</b> .....	30
1. 口蹄疫ウイルス感染動物及び排泄物中のウイルスの消長 .....	30
2. 口蹄疫ウイルス感染動物由来の畜産物等におけるウイルスの生存期間 .....	30
<b>第2章 公衆衛生上の口蹄疫の位置づけ</b> .....	32
1. 口蹄疫ウイルスの人への感染性 .....	32
2. 国際機関による口蹄疫の人獣共通感染症としての位置づけ .....	33
<b>第3章 公衆衛生の視点からみた口蹄疫ウイルス感染動物と畜産物の規制措置</b> .....	35
1. 家畜衛生上の規制 .....	35
2. 食品衛生上の規制 .....	36
1) 食品衛生法による規制 .....	36
2) と畜場法による規制 .....	36

### 第3編 英国における食品衛生面から見た口蹄疫対策とその教訓

#### 第1章 英国における2001年の口蹄疫の経験と対応 ----- 37

1. 口蹄疫発生への防疫活動と国民生活への影響および教訓  
    — 環境・食料・農村地域省 ----- 37
2. 口蹄疫と食の安全をめぐって — 食品基準庁 ----- 44
3. 口蹄疫ウイルスの人への感染をめぐって — パーブライト研究所 ----- 46
4. 口蹄疫発生による農業への影響をめぐって — 全国農業者連合 ----- 49
5. 口蹄疫発生による消費者動向等について — 食肉家畜委員会 ----- 50
6. 食肉処理施設における口蹄疫発生時の対応をめぐって  
    グランピアン・カントリー・フードグループ株式会社 ----- 55

#### 第2章 英国が行った口蹄疫対策に関する再検討 ----- 57

1. 英国の経験 ----- 57
2. 英国における事後のリスクコミュニケーション ----- 57
  - 1) 調査諮問活動について ----- 57
  - 2) 政府の対応について ----- 58
  - 3) 動物衛生・福祉方針 ----- 59
  - 4) 費用対便益 ----- 60
  - 5) 口蹄疫発生対策 ----- 60
  - 6) 広報活動 ----- 61

### 第4編 まとめ

#### 第1 口蹄疫の病性と公衆衛生および社会経済活動に及ぼす影響について ----- 63

1. 口蹄疫ウイルスの特性と感染性 ----- 63
2. 口蹄疫の公衆衛生上の問題 ----- 63

#### 第2 わが国での口蹄疫の発生時における食品衛生対策上留意すべき点

1. 畜産食品の摂取による人へのリスク ----- 65
2. 食品の安全・安心の確保と消費者に対する情報提供の方策 ----- 65

## 資料編

### A. 補足資料

I	英国の口蹄疫対策から学ぶべきポイント（調査結果）	67
II	人獣共通感染症としての口蹄疫（訳）	71
III	2001年のオランダにおける口蹄疫流行から得られた教訓（訳） － 流行防圧と緊急ワクチン接種－	76
IV	英国の2001年における口蹄疫危機：公衆のリスクの受け止め方と（訳） 政府政策への信頼度と意見についての調査研究	88
V	動物福祉の観点からみた英国の2001年口蹄疫（訳）	105
VI	英国2001年口蹄疫流行における動物福祉への影響（訳） － 王立動物虐待防止協会、ローレンス主任獣医官の論文－	113
VII	ローレンス論文へのDEFRAの反論（訳） － 2001年に英国で流行した口蹄疫における動物福祉について－	119
VIII	英国食品基準庁の概要と消費者委員会（現地調査収集資料 訳）	128

### B. 参考文献

1.	口蹄疫の発生、疫学、伝播、症状、ウイルス性状、 ワクチン、診断等に関する文献	132
2.	口蹄疫ウイルスの体内増殖、キャリアー、 畜産物における生存性等に関する文献・資料	132
3.	人への感染性に関する文献・資料	133

### C. 参照資料

I	国際獣疫事務局（OIE）動物衛生コード（口蹄疫）【仮訳】	135
II	口蹄疫清浄国一覧（国際獣疫事務局（OIE）決議第20号）【仮訳】	147
III	WTO 衛生植物検疫措置の適用に関する協定（SPS 協定）【定訳】	151

### 参考資料

	現地調査訪問先リスト	169
--	------------	-----